

このひとをじっくり探してみませんか？

第8回

倉上明湖 くらかみ めいこ

(元治元年～昭和11年)



▲倉上明湖肖像写真(平成25年度企画展パンフレットより)

倉上明湖は、元治元(一八六四)年八月十五日、幡羅郡明戸村(現深谷市明戸)に、父安吉の長男として生まれ、母は丑蔵、通称は明湖、別号は観月堂としました。幼年より画を志し、幡羅郡東方村(現深谷市東方)の日本画家、江森天淵に師事し、花鳥、人物、仏画などを巧みに描きました。明湖は、さまざま画題を描いていますが、山水画を最も得意としました。明湖の描いた山水は、奥行きのある構図で力強い描線により、山の峰や木々などの一つ一つが丁寧に描かれています。

一方、神仏や仙人を描いた仏画や人物画には内に迫力を秘めたものや、動物画や花鳥画には太い輪郭線による奔放な作品が多くあります。また、画賛が添えられているものも多く、画風に呼応するかのよう自由闊達な書体が見られます。明湖は、古今東西の画法を研究し、墨色を主とする南画で独自の画境に達した奥原晴湖や、構図に秀でた山水画家、精密な花鳥画などを得意とした南画家、田崎草雲に傾倒しました。

また、漢学は儒教と仏教の両方の教典に通じた森東吉書は軽妙洒脱なところ、特徴がある、滋賀県出身の政治家で明治時代を代表する書家、巖谷一六の風を好みました。そして、明湖はとも多くの諸名家と交流したと言われています。作画控帳によれば、近隣諸家に千数百点もの揮毫をしました。大正十三(一九一四)年には、深谷市に初めて、美術研究団体「雑麗社」が発足しました。その際には団体に参加し、後進の指導に当たりました。明湖は、昭和十一(一九三六)年五月二十七日、七十三歳で亡くなりました。



▲深山幽谷に憩う人々を描いた『蘭亭の図』

用語の手引き

『江森天淵』

榛沢郡用土村(現寄居町)に生まれ、山水画や花鳥画を得意とした。日本美術家協会から功労者表彰を受けた。

『南画』

中国の元・明の絵画に影響を受け、

日本で江戸時代後期にできた水墨画の1つの様式

『森東吉』

幡羅郡東方村(現深谷市東方)に生まれ、前橋伝習校で小学教科を修める。西別府小学校の教員になるが辞し、尚友舎を開き漢学を教えた。

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

市長の深い話

深谷市長 小島 進



タウンミーティング

深谷市では、多くの市民のかたのご意見を伺い、まちづくりに参加いただけるよういろいろな取り組みを行っています。今回は、皆さんの声を市政に反映するための取り組みについて、お話しさせていただきます。

市で行っている取り組みには、『市長への手紙』や、『市長訪問対話会』などがあります。

『市長への手紙』は、手紙・ファクス・メールでのご意見をいただくものです。『市長訪問対話会』は、団体・企業・サークルなど、皆さんが活動する場所に私が直接伺い、町おこしに関する問題などを

お聴かせいただくものです。

また、深谷市の将来を担う子どもたちから、まちづくりへの意見や提言をもらうために、『中学生との対話会』や子育てと教育について、ご意見を伺うため、『市長と保護者の意見交換会』を実施しています。

さらに、自治会連合会の各支会の主催で、市政全般や各地区のさまざまな課題について意見交換を行う『市長と語る集い』も実施しています。

このように、いろいろな取り組みをしていますが、さらに多くのご意見をお伺いするため、新たに『若者まちづくりタウンミーティング』を実施します。

このタウンミーティングは、市が定めるテーマについて、私と参加者との対話による意見交換を行うものです。

私はこのタウンミーティングで、今までのご意見をお伺いする機会が少なかった若い世代に、ぜひご意見を伺いたいと考えています。詳しくは、17ページをご覧ください。

多くの皆さんの参加をお待ちしております。

ありがとうの手紙



優秀賞
小学校高学年の部
お父さんへ

深谷小学校5年(現6年) 手島諒子 さん

いつも朝早くに家を出て、夜おそくに帰ってくるお父さんだからなかなか会えないけど、その分だけがんばっていると思うとすごいと思います。会えないのでお礼はなかなか言えないけど言えたらいいなと思っています。学費や食費、水道代とか数えだしたらたくさんあると思います。それをたった一人で支えてくれてありがとう。その分だけ親こうこうしないといけないと思うと半泣きになります。体にも気をつけて働くのほどほどにね。

みんなの声BOX

Q 防災行政無線で事件や不審者情報を放送していますが、雨の日などはよく聞こえません。他に放送内容を知る方法がありますか？

A メール配信サービスやテレホンサービス(☎0180-99-4431)、テレ玉(地デジ3チャンネル)データ放送で、放送内容を確認することができます。

メール配信サービスを利用するには、あらかじめ登録が必要です。

問い合わせ 秘書課
(☎574-6631)、
総務防災課(☎574-6635)

【メール配信サービス】
以下のQRコードを読み取り、空メールを送信してください

